

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月30日

茨城県知事 殿



提出者

住所 東京都江東区亀戸1-39-7

氏名 多田建設株式会社 代表取締役 佐藤俊也

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3683-3246

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物

処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	多田建設株式会社
事業場の所在地	東京都江東区亀戸1-39-7
事業の種類	総合建設業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2291.4t	全処理委託量	2291.4t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	1260.3t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設汚泥(水銀闘除く))



項目	実績値
①排出量	325
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑨自ら処理立入処分を行った量	0
⑪全処理委託量	325
⑫再生利用業者への処理委託量	300
⑬熱回収認定業者への処理委託量	325
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0

④自ら中間処理した量	0	⑥自ら中間処理した後の残さ量	0	⑨自ら中間処理による減量した量	0	⑪自ら中間処理した後再生利用した量	0
④のうち熱回収を行った量	0	⑥のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	⑨のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	⑪のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	⑩直接及び自ら中間処理した後の残さ量	0	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	⑫直接及び自ら中間処理した後の残さ量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	⑪直接及び自ら中間処理した後の残さ量	0	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	⑫直接及び自ら中間処理した後の残さ量	0
⑨自ら処理立入処分を行った量	0	⑫直接及び自ら中間処理した後の残さ量	0	⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	⑫直接及び自ら中間処理した後の残さ量	0
⑪全処理委託量	325	⑬優良認定業者への処理委託量	300	⑫直接及び自ら中間処理した後の残さ量	0	⑫直接及び自ら中間処理した後の残さ量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	300	⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0	⑫直接及び自ら中間処理した後の残さ量	0	⑫直接及び自ら中間処理した後の残さ量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	325	⑮優良認定業者への処理委託量	0	⑫直接及び自ら中間処理した後の残さ量	0	⑫直接及び自ら中間処理した後の残さ量	0
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0	⑯優良認定業者への処理委託量	0	⑫直接及び自ら中間処理した後の残さ量	0	⑫直接及び自ら中間処理した後の残さ量	0

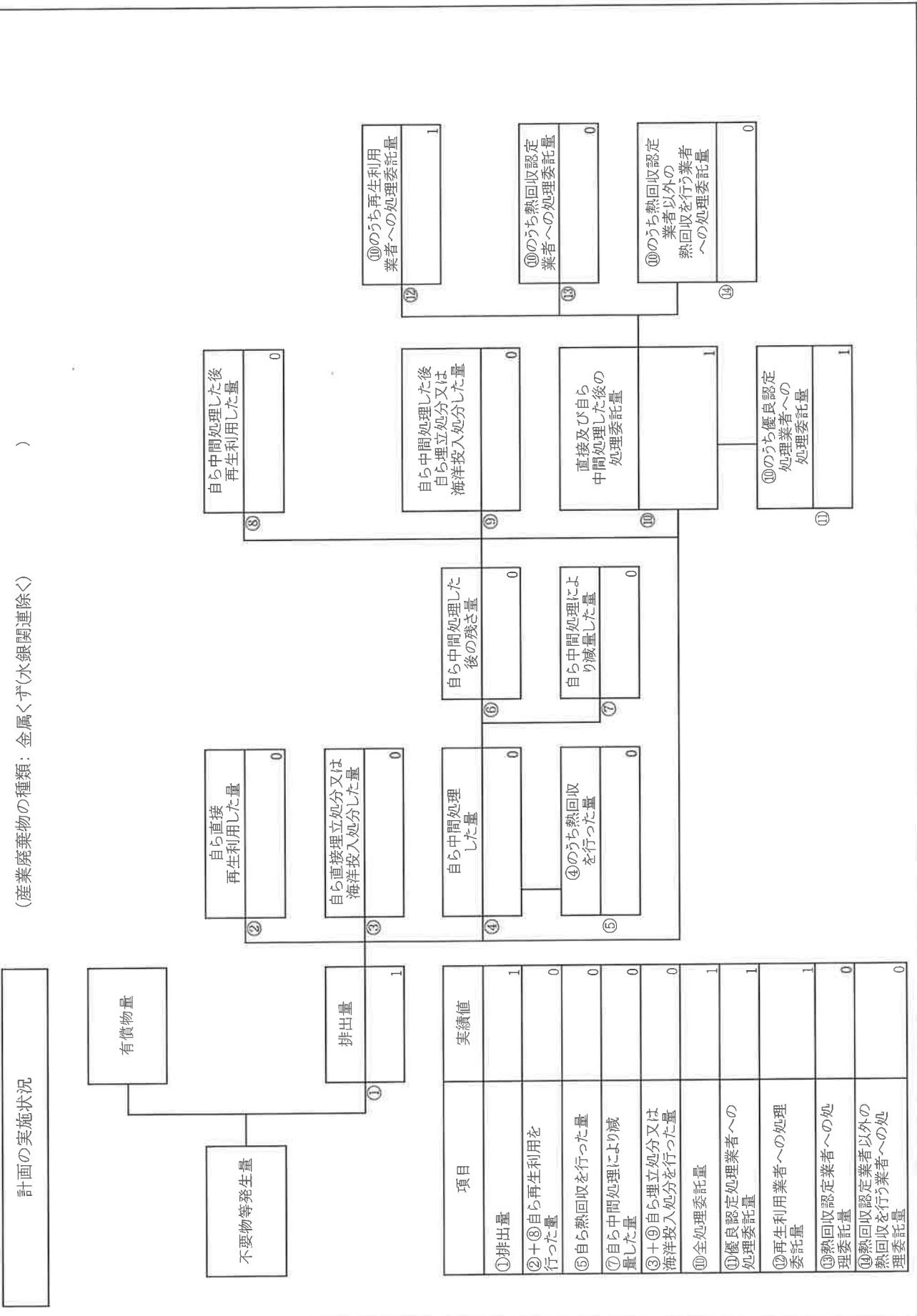
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず(水銀関連除く)

1

(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



項目	実績値
①排出量	4
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑥自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑨自ら埋立処分を行った量	0
⑩全処理委託量	4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0

項目	実績値
④自ら中間処理した量	0
⑥自ら中間処理した量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑨自ら埋立処分を行った量	0
⑩自ら中間処理した量	4
⑪自ら熱回収を行った量	0
⑫自ら直接再生利用した量	0
⑬自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
⑭自ら直接再生利用した量	0

項目	実績値
⑫自ら中間処理した量	0
⑬自ら直接再生利用した量	4
⑭自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
⑮自ら直接再生利用した量	0
⑯自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	4
⑰自ら直接再生利用した量	0
⑱自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
⑲自ら直接再生利用した量	0
⑳自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0

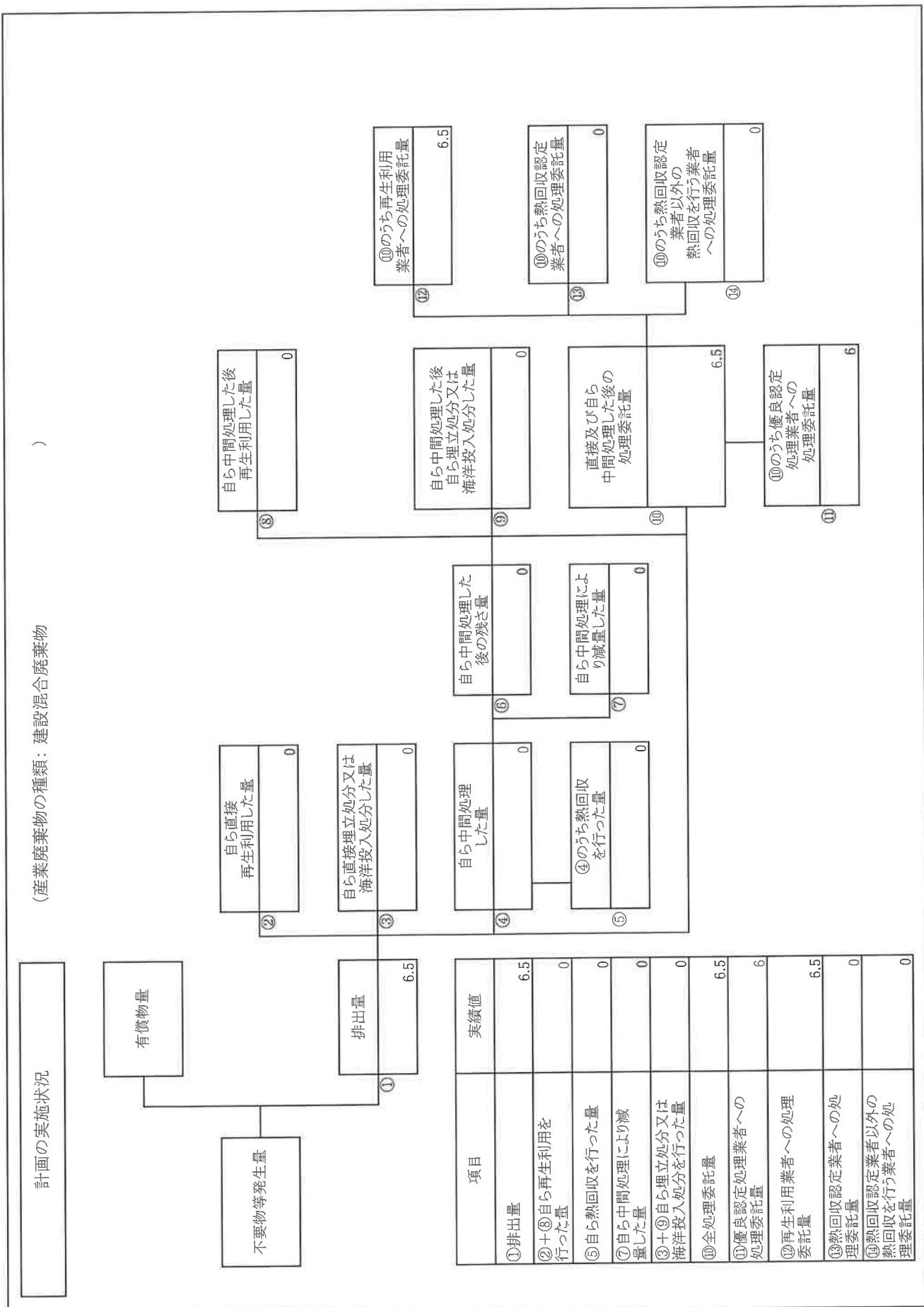
(第2面)

計画の実施状況

(産業)廃棄物の種類: 建設混合廃棄物

1

(第2面)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(16)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。